

# み ち し る べ

M i c h i S h i r u B e

33人の議員による真摯な議論をわかりやすくお伝えします。



7月臨時会  
9月定例会

◆事業成果や執行状況をチェック!  
令和4年度の決算を認定 P2

◆地域経済の活性化や健やかな  
子どもの育成へ 補正予算を審査 P8

◆一般質問  
市政のここが聞きたい P12

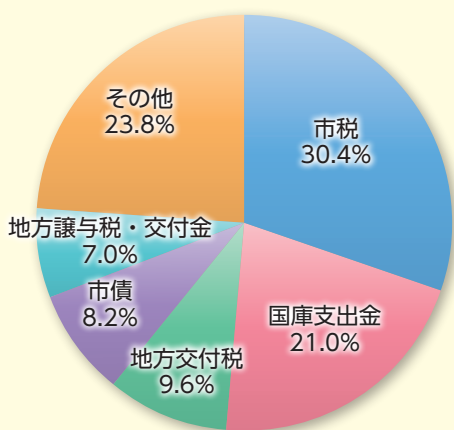
▲今年もサンタさん来てくれるかな?



# 令和4年度の決算を認定

## 地域経済活性化やにぎわい創出への取り組みを実施

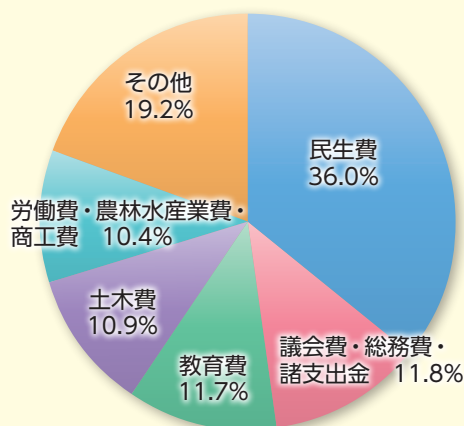
**一般会計歳入**  
1,200億2,230万円



- ①市税 ..... 365億477万円  
(個人・法人市民税、固定資産税などの税収入)
- ②国庫支出金 ..... 251億7,936万円  
(国が自治体の行う特定の事業経費の全部または一部を負担するお金)
- ③地方交付税 ..... 114億8,695万円  
(市町村の財政力に応じて国から交付されるお金)
- ④市債 ..... 98億7,980万円  
(長期間使われる公共施設の整備にかかる借入金)
- ⑤地方譲与税・交付金 ..... 83億3,616万円  
(国や県が徴収し、一定割合で市に交付される、本来地方税となるべきお金)
- ⑥その他 ..... 286億3,526万円  
(県支出金、諸収入、繰越金、使用料および手数料など)

- ①民生費 ..... 419億4,388万円  
(子育て支援、障がい者・高齢者の福祉、医療給付などの経費)
- ②議会費・総務費・諸支出金 ..... 136億8,775万円  
(議会の運営、広報、文化・スポーツ振興などの経費)
- ③教育費 ..... 136億1,136万円  
(教育の充実、学校の建築・改修、生涯学習などの経費)
- ④土木費 ..... 127億281万円  
(公園や道路・街路の整備、市営住宅の管理などの経費)
- ⑤労働費・農林水産業費・商工費 ..... 121億6,630万円  
(勤労者福祉対策、農業振興、観光振興などの経費)
- ⑥その他 ..... 223億4,006万円  
(衛生費、公債費、消防費・災害復旧費など)

**一般会計歳出**  
1,164億5,216万円



# 事業成果や執行状況をチェック!

## 「コパル」や「Q1」などの戦略的拠点施設を開設し



▲不用となった庁舎物品をフリマアプリに出品

**委員** 車両などの売却価格が想定より高く、予算額を超える物品売払収入があったとのことだが、歳入の確保に向けた庁舎物品の売払いの状況はどうか。

**財政課長** 車両の売払いが想定より好調であったことに加えて、令和4年度後半から開始した、フリマアプリを利用

国や県からの支出金や市税などを市の歳入（収入）としました。

歳入  
1200億2230万円

決算審査の中からいくつかの質疑を取り上げ、内容を要約してお伝えします。

**委員** 救急救命士の資格に対する手当などはあるのか。

**救急救命課長** 救急救命士に対する手当は設けていないが、現在、検討を進めている。

**委員** 救急救命士の確保に向けた目標と現状はどうか。

**救急救命課長** 8隊ある救急隊に常時6人の救急救命士を配置しつつ、令和5年10月から開始したデイトム救急隊の運用に必要な人数も考慮すると、**最低でも57人の実働救急救命士が必要**となる。現在、資格取得者は67人いるが、役職の関係で実働から外れている13人を除くと、**3人が不足**しているため、計画的な養成が必要である。

常に複数の救急救命士が救急車に搭乗できる体制を確保するため、計画に基づいて救急救命士の養成を行いました。

救急救命士養成事業  
1003万円

した庁舎内の不用品の売払い事業も好調であり、今後も歳入の確保に努めていきたいと考えている。

### 健全化判断比率・資金不足比率および市債残高

健全化判断比率・資金不足比率とは、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づき公表される、地方公共団体の財政の健全度を判断するための指標です。実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率を早期健全化基準と比較することで財政の健全度を判断します。また、特別会計、企業会計の場合は資金不足比率を経営健全化基準と比較して判断します。いずれの指標も基準を下回っているため、本市の財政は健全と言えます。また、参考として、各会計の市債（山形市の借入金）の残高も併せて表示しています。

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
山形市	なし	なし	7.6%	97.0%
早期健全化基準	11.25%	16.25%	25.0%	350.0%

※実質収支および連結実質収支が黒字のため、実質赤字比率および連結実質赤字比率はありません。

		資金不足比率	経営健全化基準	市債および企業債残高(令和4年度末現在)
一般会計				1,096億9,185万円
特別会計	介護保険事業会計			2億1,116万円
	区画整理事業会計			9,587万円
	駐車場事業会計			2億8,104万円
	公設地方卸売市場事業会計	なし	20.0%	5億6,568万円
農業集落排水事業会計	なし	149億5,684万円		
水道事業会計	なし	758億4,156万円		
公共下水道事業会計	なし	10億2,860万円		
市立病院済生館事業会計	なし	2,026億7,260万円		
合計				

※いずれの会計も資金不足額は生じていないため、資金不足比率はありません。

### 自主防災組織育成事業

697万円

自主防災組織の活動を支援するため、防災資器材の購入や防災士養成研修講座受講料などに対する補助を行いました。

### コミュニティサイクル導入事業

4837万円

アフターコロナでの市民や来訪者の新たな交通手段として、コミュニティサイクルを導入しました。

### 委員 防災士のスキルアップ

セミナーや交流会の実施など、資格取得者の意欲を保つ取り組みを強化してはどうか。

### 防災対策課長 自主防災組織

の活動や講座などに出向く意欲ある防災士の登録制度を設けるなど、活躍の場の提供に向けた検討を行っていく。

### 委員 サイクルポートが満車でスムーズに返却できない場合があるが、どのような対策を行っているのか。

公共交通課長 台数の多い箇所から少ない箇所に自転車の再配置を行っているが、利用の実態に追いついていないため、配置の最適化に向けて事業者との調整に努めていく。

### 委員 生活バス路線維持費補助金

7070万円

赤字の生活バス路線を維持するために補助金を交付しました。

### 委員 令和4年度の執行額が減額となった要因はなにか。

公共交通課長 3年度は28路線が赤字路線と

▲サイクルポートが増えて、さらに利便性UP！



して補助対象となったが、4年度は、この中の4路線が黒字化するなど、**バスの利用者数が回復傾向**にあったことが主な要因と捉えている。

### マイナンバーカード普及促進事業

1億726万円

マイナンバーカードの作成・発行や交付、運用管理などを行いました。

### 委員 カードの交付手続きに対する市民の反応はどうか。

市民課長 カードの受け取り場所が市役所のみで煩雑であるとの声や、予約が取りづらいつとの声もあり、機会を捉えて国に要望を伝えている。

### ひきこもり生活者支援事業

726万円

相談支援体制を強化するため、ひきこもり相談支援員を配置し、個別訪問活動などの支援を行いました。

### 委員 ひきこもり予防を目的に実施した、つながりよりそいチャットの検証状況はどうか。

生活福祉課長 生きづらさを



▲マイナンバーカードの受け取りは市役所1階で

感じている人が前向きになるようなやりとりがあったと好評であった。他方で、試験的な実施のため周知が足りなかったとの意見もあり、今後実施する場合には、周知方法も検討していきたい。

### 高齢者移動支援サービス検討事業

27万円

民間タクシーへの同乗をコーディネートするなど、新たな移動支援サービスのモデル事業を実施しました。

### 委員 令和4年度の成果はどうか。

長寿支援課長 モデル事業を

### SUKSK生活推進事業

3906万円

ウォーキングなどでポイントを獲得できる事業や、減塩メニューを認定する事業などを行いました。

### 委員 事業の効果はどうか。

健康増進課長 コロナ禍では

行った出羽地区では、延べ182人が利用し、平均相乗人数は3.4人、南沼原地区では、延べ76人が利用し、平均相乗人数は2.5人であった。令和5年10月以降は、住宅が点在している蔵山王田地内での実施を予定している。

\* コミュニティサイクル…自転車の貸出・返却が可能なサイクルポートを街なかに複数設置することで、短距離移動を目的とした公共交通を補強する都市交通システム。



▲建物の外にもインクルーシブな遊具を設置

**委員** 令和4年度の寄付額は約43億円と、順調に寄付額を伸ばしているが、今後どのような取り組みでいくのか。  
**ブランド戦略課長** 令和5年10月からふるさと納税のルールが厳しくなり、これまで経費とみなされていなかった

返礼品として魅力的な特産物を贈ること、特産品などのPRと地場産業の振興を図りました。

**委員** 障がいのある子どもや

すべての子どもが分け隔てなく遊べる児童遊戯施設を開設しました。

シエルターインフルーシブ  
プレイス コパル整備・運営  
事業 2億7007万円

健康ポイント事業SUKSKの登録者数が伸び悩んでいたが、令和4年度からは回復傾向にある。健康維持に効果のある事業をポイント対象に認定して、登録者を増加させることで、健康関連の指標の向上につなげていきたい。

その保護者からの反応と課題はどうか。

**子ども未来課長** 初めて車に乗ったままブランコに乗れたなど、喜びの声が寄せられているが、日常的に気軽に訪れるのが難しい場合もあるため、スペシャルニーズデーとして、障がいのある人に特化して運営する日を設けるなどの工夫を行っている。今後、寄せられた意見を踏まえながら運営に反映させていきたい。

ふるさと納税推進事業  
23億2357万円

**委員** おすすめのラーメン店が記載された名刺を作成することができるとのことだが、名刺のダウンロード件数はどうか。また、事業効果をどのように分析しているのか。  
**ブランド戦略課長** ポータルサイトを開設した令和5年3月から9月末までのダウンロード件数は、1636件となっている。また、サイト自体の閲覧数も約23万件となっており、徐々に取り組みが広がり、効果が現れてきていると捉えている。

山形のラーメン文化を県内外に広く発信し、誘客促進や消費拡大を図りました。

ラーメンプロジェクト  
推進事業 2303万円

大部分まで経費扱いとなった新たなルールを適用すると経費率が3・6%超過することになるが、返礼品の価格には転嫁せずに、送料などの節減を図るとともに、経費率が低くなる高額の返礼品を多く選んでもらうための工夫を行い、4年度以上の寄付額となるように取り組んでいく。

**委員** 贈呈する積み木はどのように製作されているのか。  
**森林整備課長** 山形木材業組合に委託し、市産の間伐材を利用して積み木を製作しているが、福祉との連携事業として

木材への親しみの心を育むため、幼児に市産材を使用した積み木を贈呈しました。

市産材ブランド化推進事業  
621万円

中小企業などの売り上げ向上に特化した伴走型支援を行いました。

山形市売上増進支援センター(Y・b・i・n) 運営事業  
5359万円

中小企業などの売り上げ向上に特化した伴走型支援を行いました。

**委員** 商工業と連携した取り組みは行っているのか。  
**農政課長** 販路拡大を目的としたコケ製品の見本市への出展や、ニホンミツバチの蜂蜜を利用した化粧品開発への支援を行っている。

農業者などの6次産業化を図るため、自家生産物を活用した新商品開発や販路開拓などを支援しました。

6次産業化促進支援事業  
59万円

て、角を削る作業などを福祉事業所に再委託している。



▲1歳6カ月児健診時にプレゼント！

※1 インクルーシブ…性別や年齢、人種・国籍の違い、障がいの有無など、異なる背景や特性をもつ人々が互いを認め合うこと。  
※2 6次産業化…農業を、加工などの2次産業とサービスや販売などの3次産業まで含めて一体化した産業とすること。

**山形広域炊飯施設共同運営事業**  
825万円

山形連携中枢都市圏の8市町で炊飯施設を整備し、学校給食や福祉施設などに米飯を提供しました。

**委員** 共同運営している8市町以外にも約90万食の米飯を提供したとのことだが、どこに提供したのか。

**学校給食センター所長** 共同運営に加わっていない天童市が独自の炊飯施設を整備するまで提供を行うほか、山形大附属小学校などにも提供している。

**鳥獣生活環境被害対策事業**  
504万円

鳥獣被害対策に向けた地域住民への研修会や、人的・物的被害への緊急的な対応などを行いました。

**委員** クマ注意喚起業務の委託先である、専属的な体制を取ることができるとはどのような事業者なのか。

**環境課長** 24時間体制で業務を営んでいる警備保障会社に委託し、クマが出没したときの町内会長への連絡や、のぼり旗の設置などを行っている。



▲毎日おいしいご飯を小・中学生へ！

**集団資源回収推進事業**  
4260万円

市民のごみ減量運動である資源回収を推進するため、実施団体への資源回収奨励費の交付などを行いました。

**委員** 令和3年度と比較して回収量が減少した要因はなにか。  
**ごみ減量推進課長** コ

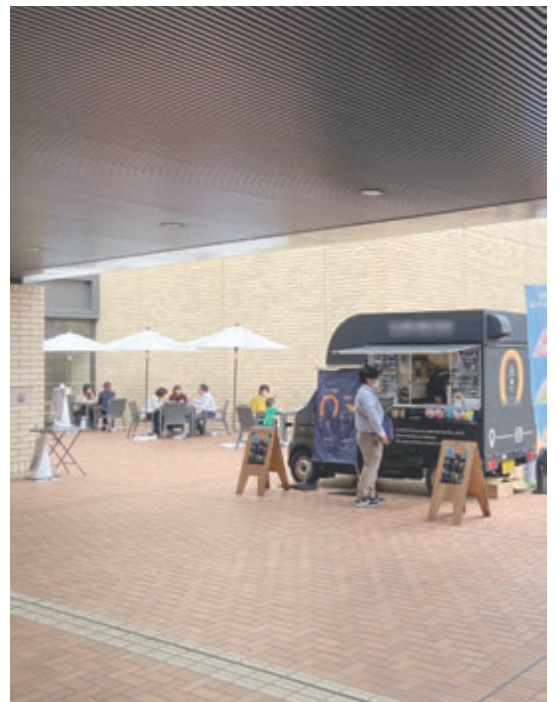
ロナ禍で資源回収の実施団体や実施回数が若干減少しているものの、大きく影響を与えたのはインターネットの普及に伴う紙媒体の流通量の減少や、市内の各スーパーでの店頭回収を利用する人の増加と考えている。

**中心市街地歩行者空間創出等事業**  
2658万円

居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりの実現に向けて、道路などを活用した滞在空間の高質化の社会実験を実施し、課題の抽出・分析を行いました。

**委員** 令和3年度と比較し、4年度の執行額が減少している理由はなにか。

**まちづくり政策課長** 年度ごとに異なる社会実験を実施しており、事業の初年度となる3年度は、七日町大通りとすずらん通りの歩行者天国化を実施したことで、交通規制に伴い警備員を配置するなど大規模な実験内容となった。4年度は、ほっとなる広場や市役所前広場など、交通規制を必要としない場所を選定して実験を行ったため、事業費に



▲4年度は市役所前にキッチンカーが出店

**住宅リフォーム総合支援事業**  
1億1219万円

市民の住環境の向上や定住の促進、空き家対策と融合した住まいづくりの推進などのため、住宅リフォームに対して補助を行いました。

差が出たものである。

**委員** 移住世帯などへの補助の実績はどうか。

**建築指導課長** 移住世帯は、抽選ではなく優先的に補助の対象としており、令和4年度は所得制限のない補助には20件、所得制限のある補助には19件の申し込みがあった。

**山寺地区景観形成(無電柱化)事業**  
1675万円

無電柱化のための電線共同溝敷設工事や舗装工事などを行いました。

**委員** 事業の進展状況と、事業完成に向けた地元や県との協議状況はどうか。

**道路維持課長** 令和2年度から事業を開始し、4年度から電線共同溝の敷設工事を行っている。地元からは、観光シーズンを除く12月から3月のみの施工を要望されていたが、事業期間が長期にわたるため、観光シーズン中でも夜間の工事が可能となるように協議を



▲河川の状況をリアルタイムで監視

河川の状況をリアルタイムで監視しており、今後も働きかけを継続していく。

**委員** 須川沿川の河川監視カメラの設置台数はどうか。ま

転入者などへの洪水ハザードマップの配布や、須川沿川のCCTVカメラ画像をより高速で鮮明に受信できる装置への更新を行いました。

**洪水ハザードマップ普及促進事業 350万円**

行い、理解を得ている。また、県道である山形山寺線への整備を県に要望した結果、県では6年度から事業に着手する予定となっている。

た、撮影された画像はホームページなどで閲覧可能なのか。  
**河川整備課長** 国が7カ所、県が1カ所の計8カ所にカメラを設置している。市役所庁舎内では、受信した映像を動画で確認できるが、一般の方には山形県河川・砂防情報システムなどで静止画を閲覧することが可能である。

**介護保険事業会計**

**委員** コロナ禍で厳しくなっている人材確保のため、介護職の処遇改善を行うべきだが、利用料や介護保険料負担に反映されてしまうことのないように国庫負担割合を引き上げた上で処遇改善を行うよう国へ要望してはどうか。

**介護保険課長** 今後、介護ニーズの高い85歳以上人口の増加などで保険給付費が増加し、第1号被保険者の保険料も上昇していくことから、国庫負担割合の引き上げが必要と考えている。全国市長会などを通して国に要望し

**病院事業会計**

**委員** 令和4年度は、県や国から新型コロナウイルス感染症関連の補助をどの程度受けたのか。

**済生館管理課長** 入院患者の病床確保に対する空床補償や防護服などの物品購入費、感染などで帰宅困難となった医療従事者のホテル代など、合計で約10億3100万円の補助を受けている。

**公共下水道事業会計**

**委員** 下水道の整備率は99.09%となっているが、利用率は94.49%となっており、この差をどのように分析しているのか。また、未接続の人への働きかけはどうか。

**業務課長** 令和3年度末の県内の下水道利用率の平均は91.3%で、県内では本市の利用率が一番高い。未接続の家屋には、訪宅して接続を依頼するなどの普及活動を行っている。また、経済的な理由で未接続となっている人には、5年度から7年度までの期間限定で、下水道接続工事に対する補助を行っている。

**令和4年度 決算監査意見書要旨**

**一般・特別**

一般会計の歳入では、前年度に比べ繰入金、繰越金などが増加し、国庫支出金、市債などが減少している。市税収入の動向を見ると、全体として増加傾向が見られるが、ふるさと納税やクラウドファンディングなど、安定した財源確保を目指し一層の取り組みを行われたい。一方、歳出では、前年度に比べ教育費、消防費などが増加し、商工費、民生費などが減少している。子育て支援など、多くの行政需要が見込まれることから、長期的な視野に立った行政経営を推進されたい。また、コロナ禍以前の日常が戻りつつある一方、物価高騰の影響も大きくなっており、状況に応じた対応も行う必要がある。

**済生館**

財政状態を示す経営分析に係る諸比率は、主要な項目で前年度に比べ改善し、病院経営はおおむね順調に推移していることがうかがえる。済生館は、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院として、地域の医療機関などと連携強化を図りながら、安全で安心できる質の高い医療の提供に取り組まれている。引き続き新型コロナウイルス感染症への対応に取り組むとともに、地域の中核病院としての役割を果たされることを望むものである。令和4年策定の「済生館3カ年計画」では、新病院整備に向けた取り組みの推進などの多くの計画を掲げており、その実現に向けて、諸施策を確実に進められたい。

**水道**

財政状態を示す経営分析に係る諸比率は、前年度と比較し、大きな変動は見られない。給水収益は、前年度を大きく下回っており、物価高騰対策として2カ月分の基本料金を減額したことが主な要因であるが、節水型機器の普及などから、水需要は減少傾向が続くことが予想され、収益増加は不透明な状況にある。また、近年、地震や集中豪雨などの大規模な自然災害が県内でも発生しており、災害に強い水道の構築が緊急の課題となっている。今後とも資産と財産の有効活用を行うとともに、施設規模や稼働状況の適正化などを図り、一層の経営の効率化に努められたい。

**公共下水道**

財政状態を示す経営分析に係る諸比率は、前年度に比べポイント数の増減はあるものの、大きな変動はないが、企業債に依存する割合が比較的高いことがうかがえる。平成30年度からは、民間活力を活用した下水道使用料等徴収業務を含めた上下水道営業等包括委託を実施している。受益者負担の公平性を確保するため、より効果的、効率的な未収金対策となるように努められたい。令和5年度からは、「山形市上下水道事業基本計画NEXTビジョン2023」に基づき事業を進めていくこととなるが、諸施策の着実な実現に向けて、引き続き効率的な事業経営に取り組まれたい。

地域経済の活性化や、健やかな子どもの育成のための補正予算を審査

補正予算審査の中から、いくつかの質疑を取り上げ、内容を要約してお伝えします。

蔵王温泉スキー場利用促進事業 874万円

蔵王温泉スキー場の活性化のため、若者を対象にリフト代を割引します。

委員 割引クーポンを300

9月の主な補正予算  
一般会計 28億609万円

<主なもの> (千円以下切り捨て)

- 新基幹システム構築運用事業 ..... 2億1,878万円
- 道路維持補修事業 ..... 1億9,000万円
- 福祉灯油購入費等給付事業 ..... 1億4,699万円
- 小中学校防犯対策施設整備事業 ..... 6,792万円
- 東消防署蔵王温泉出張所整備事業 ..... 5,998万円
- 道の駅整備・運営事業 ..... 5,526万円

0枚発行することだが、対象者を若者に限定した理由はなにか。また、発行予定数の算定根拠はどうか。

観光戦略課長 令和4年度の実績では、ほかの年代に比べて若者の利用者数は少なかったが、再度利用したいとの声が多かった。4年度の実績や、市民と一緒に来ている市民以外の人にまで対象者を拡大することに伴い利用者数が増加することを想定し、発行予定数を算定した。

(仮称)花小路公園整備事業 1600万円

旧千歳館エリア・リノベーション事業で整備する公園の実施設計を行います。

委員 都市計画道路諏訪町七日町線の道路拡幅での公園面積への影響はどうか。

公園緑地課長 公園の一部が歩道となるが、公園と歩道の機能を併せ持つ兼用工作物として整備を予定しており、公園面積への影響はないと考えている。

デジタル窓口導入に伴うカウンター等改修事業 836万円

令和6年1月から転入・転出などの手続きを対面聴き取りで行うため、窓口カウンターの改修をします。

委員 窓口での手続きの流れはどのようになるのか。

市民課長 これまでは、市民が記載台で用紙へ記入し、窓口へ提出していたが、今後は、**口頭で職員に内容を伝え、職員がシステムへの入力を行う**

ことから、市民は**確認のサインのみ**で済むようになる。また、住所などの基本的な情報が印字された申請書を市民課で印刷し、**他部署での手続き**に使用できるようにする。

委員 繁忙期対策はどうか。

市民課長 **カウンターの台数の増設や職員の増員のほか、繁忙期を想定しながら職員のスキルアップ**を図っていく。

図書館情報システム更新運用事業の債務負担行為 限度額4782万円

令和6年5月末で契約期間が満了となる図書館情報システムを更新するため、債務負担行為を設定します。

委員 新システム導入のメリットはなにか。

図書館長 **スマートフォンなどで貸し出しが可能**となり利便性が向上するほか、**システム障害が発生した際の復旧までの時間が短縮**されるなど、管理面でもメリットがある。



▲令和6年1月からは「書かない窓口」に

市民会館整備運営事業の債務負担行為 限度額 172億7144万円に物価変動による増減額を加えた額

新市民会館の運営事業者の公募に必要な経費の限度額を設定します。

委員 芸術責任者としてクリエイティブディレクターを配置することだが、どのような役割を想定しているのか。

文化創造都市課長 **催事の企画や予算の調達、広告宣伝などを総合的に**行うことを想定している。

※ 債務負担行為…1つの事業が単年度で終了せずに、後年度でも負担しなければならない場合に、議会の議決を経てその期間と額を定めるもの。



総務 厚生  
産業文教 環境建設

# 委員会を開催しました (7月臨時会 産業文教委員会) (9月定例会 各常任委員会)



▲制度を拡充し、さらなる子育て世帯支援へ

**委員** 多くの方が制度拡充の対象となるが、どのように周知を行っていくのか。  
**子ども家庭支援課長** 年1回の医療証更新時に案内を行うほか、市ホームページや広報やまがた、おやこよりそいチャットやまがたなどを活用して周知を行う予定である。また、国民健康保険団体連合会を通して、**県内の医療機関へ制度を通知**する予定である。

**委員** 支給対象者の拡大に伴い、事業費はどの程度の増額を見込んでいるのか。  
**子ども家庭支援課長** 支給対象者は約6000人拡大されることとなり、令和6年度は1億5200万円、7年度は1億8200万円の増額を想

(9月定例会)  
令和6年4月から、子ども医療給付金の支給対象を18歳の外来療養などの医療費まで拡大

子ども

**委員** 制度の拡充に向けたスケジュールはどうか。  
**子ども家庭支援課長** 令和5年中にシステムを改修して対象者を抽出し、6年1月中には保険証の情報を確認するための**確認書の送付と受け付け**を開始する予定である。その後、6年2月下旬までに受け付けとシステムへの入力作業を行い、6年3月下旬には**医療証を発送**する予定である。

(9月定例会)  
道の駅やまがた蔵王の指定管理者を決定

まちづくり

## 議員から年賀状などのあいさつ状を出すことは禁止されています

自筆による答礼を除き、議員が選挙区内の人に対して、年賀状などの時候のあいさつ状（電報なども含む）を出すことは禁止されています。

議員が選挙区内の人にお金や物を贈ることは、公職選挙法で禁止されており、違反すると罰せられます。  
有権者が議員へ寄付を求めることも禁止されています。

**市民の皆さまのご理解をお願いします**

**委員** DBO方式で事業を行う場合、指定管理者の公募は行わずにDBO事業者を指定管理者とするのか。  
**総務部長** 山形市公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例では、DBO方式やPFI方式の場合は公募を行わずに、指定管理者の候補者を選定することができ

(9月定例会)  
道の駅やまがた蔵王の指定管理者を決定

まちづくり

**委員** DBO方式で、指定管理者が15年間施設の維持管理を行うとのことだが、その間、市は指定管理者に対して、経営面などへ意見することはできるのか。  
**公共交通課長** DBO事業への**モニタリング**などを行う中で**状況を検証**しながら、経営や運営に対する声を伝えていきたいと考えている。

(9月定例会)  
道の駅やまがた蔵王の指定管理者を決定

まちづくり

※1 DBO…民間の事業者が公共施設などの設計 (Design)、建設 (Build)、運営 (Operate) を一括して委ねるが、施設の所有や資金調達等は行政側が行う方式。  
※2 PFI…Private Finance Initiativeの略称で、民間の事業者が公共施設などの設計、建設、運営のほか、資金調達まで一括して委ねる方式。施設整備後に行政側に施設の所有権を渡す方式 (BOT方式) や、民間が施設を所有し続け契約終了後に行政側に施設の所有権を渡す方式 (BOO方式) などがある。

## 人事案件

高倉氏の副市長選任に  
同意

令和5年10月31日で任期満了となる高倉正則副市長を引き続き選任することに、全会一致で同意しました。



▲再任された高倉正則副市長

## 意見書(要旨)

9月定例会で可決された意見書は1件です。関係機関に送付しました。

核兵器禁止条約の実効性を高めるための主導的役割を果たすことを求める意見書

令和4年6月開催の核兵器

## 陳情

9月定例会で審議された請願はありませんでした。陳情は、継続審査中の1件を所管する委員会で審査しました。委員会での審査結果は以下の通りです。

陳情	第5号(5)	継続	件名	紹介議員	所管委員会	結果
			提出者			
			全国霊感商法対策弁護士連絡会の不当な声明に対することについて 山形県を明るくする会 代表 井上 均		総務	不採択

## 7月臨時会(花笠議会)



7月臨時会を7月28日に開催しました。7月臨時会では、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律に基づく特定事業に係る契約の締結について」の一部変更について(山形市立南沼原小学校校舎等改築事業)の議案1件が上程され、所管する産業文教委員会に付託し審査を行いました。

審査終了後に本会議を再開し、委員長報告を受けた後、採決した結果、全員異議なく同意しました。

また、7月臨時会の開会に先立ち、山形花笠まつりを盛り上げようと、議員が企画した議場でのPR(花笠議会)が行われました。本会議場内を花笠で飾り付け、議員と市執行部職員が法被を着用して、華やかな中で花笠まつりをPRしました。



▲出席者全員で花笠まつりの成功を祈念

禁止条約第1回締約国会議では、核兵器の非人道性を再確認するとともに、核兵器に依存した安全保障を批判し、条約への参加促進や核被害者援助など、条約の内容を実現する方策を盛り込んだ最終文書である「ウィーン宣言」と具体的な行動を定めた「ウィーン行動計画」が採択された。核の傘の下にありながらオプザーバー参加した国がある一方、核保有国やその同盟国は不参加であり、条約の実効性を高める上での大きな課題

となつている。また、条約の効果的な運用と発展のためには、核保有国やその同盟国を含めた多くの国が参加し、議論されることが重要である。令和5年5月には、被爆地長崎でG7長崎保健大臣会合が開催され、各国の閣僚が平和公園で献花を行い、被爆地広島では、G7広島サミットが開催され、主要7か国の首脳が核兵器のない世界に向けた議論を行っている。このように世界のリーダーが被爆地を訪れ被爆の実相に触れたこ

とは、国際的な注目を集める貴重な機会となった。被爆者の平均年齢が85歳を超える中、核兵器のない世界の実現という被爆者の切なる願いを、唯一の戦争被爆国として日本政府は真摯に受け止め、核保有国と非核保有国の橋渡しに努めるなど、条約の実効性を高めるために主導的役割を果たす必要がある。本市は、昭和59年に「山形市平和都市宣言」を議決し、さまざまな平和都市宣言事業を継続しており、令和5年10月には、被爆ピアノを使用した議場平和コンサートを開催し、唯一の戦争被爆国として、核兵器の廃絶を訴えている。以上から、国が次の事項を実現するよう、強く要望する。

1 核兵器禁止条約への早期署名・批准に向けて、まずは令和5年11月に開催予定の第2回締約国会議にオプザーバーとして参加すること。

2 その上で、核保有国を含む核兵器禁止条約に署名・批准していない国に対し、署名・批准を要請すること。

### 議決議案一覧（7月臨時会）

議案番号	件名	議決結果
議第59号	「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律に基づく特定事業に係る契約の締結について」の一部変更について（山形市立南沼原小学校校舎等改築事業） 山形市立南沼原小学校校舎等改築事業の契約金額を変更するものです。	同意 (全会一致)

### 議決議案一覧（9月定例会）

議案番号	件名	議決結果
議第60号	令和4年度山形市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について	認定 (全会一致)
議第61号 議第62号	令和4年度山形市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について 令和4年度山形市公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	可決および 認定 (全会一致)
議第63号	令和4年度山形市立病院済生館事業会計剰余金の処分及び決算認定について	可決および 認定 (全会一致)
議第64号	令和5年度山形市一般会計補正予算 内容は8ページをご覧ください。	可決 (全会一致)
議第65号	「工事請負契約の締結について」の一部変更について（道の駅「(仮称)蔵王」整備事業設計建設工事） 道の駅「(仮称)蔵王」整備事業設計建設工事の請負金額と工事の名称を変更するものです。	同意 (全会一致)
議第66号	指定管理者の指定について（道の駅やまがた蔵王） 道の駅やまがた蔵王の管理を行う指定管理者を指定するものです。	可決 (全会一致)
議第67号	山形市職員の懲戒の手續及び効果に関する条例等の一部改正について 新型インフルエンザ等対策特別措置法の改正に伴い、規定の整備をするものです。	可決 (全会一致)
議第68号	山形市基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正について 公共施設などの整備や改修などに活用するための基金を新たに設置するとともに、公共施設維持補修基金を廃止するものです。	可決 (全会一致)
議第69号	山形市福祉医療給付金支給条例の一部改正について 外来療養などを対象とすることも医療給付金の支給対象者の範囲を18歳までに拡大するものです。	可決 (全会一致)
議第70号	山形市保健衛生関係手数料条例の一部改正について 旅館業法の改正に伴い、旅館業の譲渡に関する旅館業許可承認申請手数料を定めるものです。	可決 (全会一致)
議第71号	山形市旅館業法施行条例の一部改正について 旅館業法の改正に伴い、旅館業の譲渡で営業者の地位が承継される場合の基準などの規定を整備するものです。	可決 (全会一致)
議第72号	山形市火災予防条例の一部改正について 総務省令の改正に伴い、蓄電池設備、固体燃料を使用する火気設備などへの火災予防上必要な措置に関して所要の改正を行うものです。	可決 (全会一致)
議第73号	山形市副市長の選任について 内容は10ページをご覧ください。	同意 (全会一致)

議案番号	件名	議決結果
議案第4号	核兵器禁止条約の実効性を高めるための主導的役割を果たすことを求める意見書の提出について 内容は10ページをご覧ください。	可決 (全会一致)

# 市政のことが聞きたい



一般質問とは 議員が、市政全般にわたる事務の執行状況や政策方針に対して、市長や担当する各部長などに質問することです。9月定例会では、10月11日と12日の2日間で8人の議員が質問を行いましたので、主な質問を紹介します。



たなか 英子

えいこ 田中 英子(新 翔 会)

## コード化点字ブロックの設置を!!

Q 石川県金沢市では、スマートフォンで読み取ること  
で音声情報が提供されるコー  
ド化点字ブロックを街なかの

A 交差点などに設置している。  
障がい者や外国人などの利用  
が期待できるため、本市も導  
入してはどうか。  
多言語に対応した音声機

能での案内が可能であり、外  
国人観光客を含めたすべての  
人が活用できるため、金沢市  
の取り組みを注視しながら、  
調査研究していく。

Q 市内の夜景スポットをま  
とめた夜景マップを作成し、  
宿泊業者やタクシー事業者な  
どに活用してもらうことで、  
観光客の長期滞在につなげて

A はどうか。  
夜景をはじめとする市内  
の観光名所の紹介に特化した  
SNSのアカウントを開設す  
るとともに、市内の温泉施設  
などと連携して観光客への情  
報提供を行い、回遊してもら  
うことで、長期滞在につなげ  
ていく。

Q 伴走型の相談体制の強化

A や産後ケアの充実など、子育  
て環境をさらに向上させるた  
め、どのように取り組んでい  
くのか。  
産婦の誰もが産後ケアを  
利用できるように、対象者を  
拡大する予定である。伴走型  
の相談支援として実施する面  
談も活用しながら、市民の  
ニーズを把握し、さらなる充  
実に努めていく。

## 一般質問をインターネットで簡単視聴!

令和5年9月定例会の一般質問の様子は、「山形市議会インターネット議会議中継」サイトに配信しています。

インターネットによる配信では、各議員の一般質問の内容全てをご覧いただくことができます。

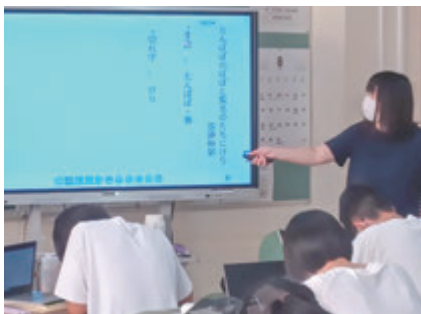
また、生中継での配信も行っておりますので、次回の令和5年12月定例会開催時には、ぜひご利用ください。



ウェブサイト

山形市議会 中継 で 検索





▲質の高い「個別最適な学び」の実現を



たかはし  
まさき

高橋  
まさき  
正樹(新翔会)

### 支援体制を充実させ、安心して 学べる教育環境の整備を

Q 選挙の投票所は、駐車場やアクセス面などの周辺環境が整った場所を指定すべきではないか。

A 市民に分かりやすい施設であることなどを重視し指定している。今後は、投票所の駐車場の情報や混雑する時間帯などの情報をホームページで公開し、混雑を緩和するように努めていく。

Q 山形PAスマートインターチェンジの近隣に産直施設や飲食物を提供する施設を整備し、さらなるにぎわい創出を図ってはどうか。

A 西公園で進めているPark-PFI事業の中で、民間活力の導入を検討し、にぎわい創出につなげていく。

Q 被災した外国人や聴覚障

がい者と消防隊などとの間で通訳を行う機能別消防団員を設置してはどうか。

A 設置の予定はないが、消防団員はさまざまな職業の人で構成されており、技能資格などの状況の把握と活用を消防団と協議し検討していく。

Q 新市民会館の整備では、市産材をふんだんに活用する

のではないかと。

A 令和5年度に導入したAI型学習ドリルなどでは、すべての児童生徒に対して、基礎的・基本的な知識と技能の習得を中心とした、一人一人に合った指導を行うこととしており、単一教科への偏りはないと考えている。また、ICT機器を活用したグループワークなどで、協働的な学びの充実を図るなど、一人一人に必要な資質や能力を育成していく。

Q 部活動の地域移行先の決定方法はどうか。また、重大事故が発生した際の責任の所在など、移行後の市の関わりはどのようになるのか。

A 5年度に実施するモデル事業では、部員数や指導者の配置状況、受入団体の体制な



▲観光情報や避難所の案内を読み取り可能

※1 Park-PFI…園路、広場などの整備を一体的に行うことを条件に、都市公園内での飲食店、売店などの公園施設の設置・管理を行う民間事業者を公募で選定する制度。  
※2 教育DX…教育の場で最新のデジタル技術を活用することで、指導方法や教職員の業務などの改革を行うこと。

Q 教育DXの推進のためには、対応可能な人材の確保が必要となるが、教員志願者が減少する中で、教員への支援をどのように行っていくのか。

A ICT支援員を積極的に配置し、授業づくりへの相談対応や児童生徒のタブレット操作への支援などを行っている。また、学校への訪問研修なども行っており、質の高い教育環境の実現に向けた取り組みを進めていく。

Q 教育DXで学びの個別最適化が進むと、興味のある分野への学習の偏りなどが生じ

るのではないかと。

A 令和5年度に導入したAI型学習ドリルなどでは、すべての児童生徒に対して、基礎的・基本的な知識と技能の習得を中心とした、一人一人に合った指導を行うこととしており、単一教科への偏りはないと考えている。また、ICT機器を活用したグループワークなどで、協働的な学びの充実を図るなど、一人一人に必要な資質や能力を育成していく。

Q 部活動の地域移行先の決定方法はどうか。また、重大事故が発生した際の責任の所在など、移行後の市の関わりはどのようになるのか。

A 5年度に実施するモデル事業では、部員数や指導者の配置状況、受入団体の体制な

こと、新施設の売りとしてはどうか。

A 整備に向けて民間事業者から提案を求めている中で、設計段階から市産材の積極的な活用に向けて地元企業との対話を図ることや、市産材の使用量を市に報告することなどを要求水準に盛り込み、来館者にとって居心地の良い空間を創出していく。

Q アリオンテック蔵王シャイツェを地域の活性化に活かすため、夏季はスロープカーを開放し、観光客がスタート地点からの景色を体験できるようにしてはどうか。

A 令和5年12月にスロープカーを更新し、乗車定員が20人となることから、6年春以降は観光客も活用できるように調整していく。

Q 江戸時代の古地図や昭和の地図と現在の地図を見比べることで、街歩きを楽しめるようにすることや、歴史を感じる遺構

を紹介することで、観光誘客を図ってはどうか。

A 市も参加する山形アーカイブ実行委員会では、江戸時代から昭和初期の地図を現在の地図に重ねたコンテンツをホームページで公開している。また、複数の文化財をさまざまなストーリーでつなぎ、発信することを検討しており、郷土愛の醸成と観光誘客につながるよう取り組んでいく。

Q 村山市では、5年7月から带状疱疹ワクチン接種への助成を開始しているが、本市でも助成を行ってはどうか。

A 国の専門委員会でも有効性や安全性が実証された定期接種を公費負担の対象としているが、現在審議中のワクチンであるため、助成制度の在り方を調査研究していく。



**長期的な視点で  
持続可能な政策を！**  
安久津 優（新翔会）



▲脱炭素社会の実現に期待される水素コンロ



**地域農業の振興と雇用拡大に  
つなげる企業誘致を図れ！**  
高野 英昭（新翔会）

Q 国は水田活用の直接支払交付金の交付要件として「5年水張りルール」を設けているが、要件を改めるように国に要望してはどうか。

A 山形県市長会を通じた国への要望を継続しながら、山形市農業戦略本部で対応策を検討していく。

Q J Aを中心とするコンソーシアムを実施主体として、南山形地区でやまがた紅王の

A 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会の構成市町と情報交換を行いながら検討していく。

Q 既存の公共交通網の沿線に新たな公共交通を整備することで、施設や公共交通の利用者の増加を図ってはどうか。

A 公共施設の設置では、さまざまな要素や条件を考慮する必要があります。一律に建設地の考え方を定めることは難しいが、公共交通網の充実や市民の利便性の向上などに重要な視点であるため、施設整備の際は今後も考慮していく。

Q 肥満体質の改善が期待されるあけびを戦略農産物として生産振興し、本市の食文化を全国に発信してはどうか。

A 生産規模拡大の課題を整理しながら、山形市農業戦略本部で検討していく。

Q 環境に優しい水素コンロの普及を図るため、飲食店事業者などを対象とした補助制度を設けてはどうか。

A 水素は、脱炭素社会の実現に有効なエネルギーであるため、普及に向けた取り組みを調査研究していく。

Q JR東日本と意見交換を進め、福島県柳津町を参考に無人駅を活用した文化の発信拠点を整備してはどうか。

A 観光や地域振興など、さまざまな観点で無人駅の利活用の可能性を検討し、JR東日本と意見交換を行っていく。

Q 霞城公園の最上義光像などのフォトスポットで「映える写真」を撮れるように案内看板を設置し、二次元コード

Q 文化創造都市の推進に向けて、個人レベルでの文化活動を盛り上げるため、設備の整った小規模な会場を新市民会館に整備してはどうか。

A 発表やリハーサルにも対応できる舞台設備や遮音性などを取り入れた大スタジオを設置し、幅広い分野の催しに活用してもらうことで、文化芸術活動を推進していく。

Q 県は中学校と高校の屋内運動施設へのスポットクーラーの設置に対して補助を行うが、冷房設備の整備に向けて、本市はどのように取り組んでいくのか。

A 中学校体育館へのスポットクーラーなどの設置は、部活動の合間などの一時的なクールダウンには有効であるため、導入を検討していく。

※ コンソーシアム…共通の目的を持つ複数の組織が協力するために結成する共同体のこと。



▲救急搬送困難事案の減少へ、システム構築を



しげえ  
江 浜

ともひろ  
朋博 (緑 政会)

## 市民の安全・安心を最優先に 施策の推進を図れ!!

Q 西南部の市街化調整区域内に地域空き地空き家供給バンクを構築し、移住・定住人口の拡大を図ってはどうか。  
A 他自治体の事例も参考に、地区振興会や民間事業者などと連携した地域に特化した取り組みを調査研究していく。

Q 施設を整備し、産業団地などの高度利用を図ってはどうか。  
A 提案された農地を含めて、建設土砂集積施設の候補地を検討する。また、山形中央インター産業団地などの例を参考に、埋立後の土地の効果的な利用を検討していく。

Q 周辺へ産業団地を整備してはどうか。  
A 新たな産業団地の整備は、次期工業振興計画を基本とし、当該エリアも含めて、早急かつ戦略的に取り組んでいく。

Q 民間事業者と連携し、市有施設に電気自動車の充電設備を設置してはどうか。  
A 民間事業者の充電インフラの整備状況などを見ながら、初期費用などの負担がかからない民間ビジネスモデルの整備手法も含めて検討していく。

Q コミュニティセンター事務局職員の処遇改善に向けて、一時金を増額してはどうか。  
A 一時金である期末手当の増額は、山形県人事委員会勧告などを参考に検討していく。



▲あけび「紫秋(ししゅう)」

Q 救急搬送困難事案を減少させるため、医療機関への一斉受入照会などが可能となる救急医療情報共有システムを早期に導入してはどうか。  
A 山形連携中枢都市圏ワーキンググループ会議で検討しており、令和6年度の導入に向けて圏域内市町や救急告示病院に働きかけを行っていく。

Q 県と実施するやまがた就職促進奨学金返還支援事業は、支援対象となる就職先や奨学金の種類が限定されているが、テレワークなども含めて要件を緩和するとともに、

Q 首都圏の大学などを卒業した学生のUターンを促すため、(仮称)山形北インター産業団地への企業誘致では、本社機能の移転や研究所など、学生が希望する業種を考慮した誘致を行ってはどうか。  
A 給与や福利厚生などの待遇面で優位性がある業種は、若者の地元定着への貢献が期待できるため、積極的に誘致に取り組んでいく。

Q 山形市スポーツ推進計画の中で、屋内型スケートボー

Q ドパークの新設を検討するとされているが、現在の検討状況はどうか。  
A 推進計画に基づき、(仮称)アーバンスポーツ普及指針の策定に着手しており、その中で新設を検討していく。

Q 理科室などの特別教室にエアコンが未設置の学校も多いが、設置の予定はどうか。  
A 小・中学校の音楽室、中学校のコンピュータ室は設置が完了しており、今後は、計画的な整備を検討していく。

Q 学校プールの水質維持などの衛生面や、使用上の安全面の管理は、教職員の大きな負担であるため、水泳授業を民間へ委託してはどうか。  
A 教職員の負担軽減などのメリットはあるが、児童生徒

の移動手段の確保などの課題もあるため、先進事例の情報収集に努め、より良い水泳授業の在り方を研究していく。

Q 部活動の地域移行に向けて、移行のスケジュール、受け皿となる団体や指導者の確保、家庭の負担軽減などの検討状況はどうか。  
A 5年度からの3年間で移行計画を策定したいと考えており、5年度の取り組みを通じて課題の把握などを行い、より効果的な取り組みとなるように検証していく。

Q 小白川街道の無電柱化に向けた取り組みはどうか。  
A 地元協議会の設立に向けた地域の組織づくりを進めてもらいながら、無電柱化に向けた勉強会を継続していく。

## 教育環境の整備促進を

小野 仁(緑 政 会)



校が、第十小学校を含めて10校以上あるため、老朽化の状況調査を行いながら、教育環境の実情も踏まえて整備の手法などを検討していく。

**Q** 公約の実現に向けて、市長は3期目の市政運営にどのように取り組んでいくのか。

**A** 公約は、当選後の市政経営ビジョンと政策を掲げる極めて重要なものであるため、3期目も、「市民目線の行政」「チャレンジする市政」を貫き、公約の実現に向けて全力で取り組んでいく。



▲昭和40年に建築された第十小学校

**Q** 第十小学校は建築から58年が経過し老朽化が進んでいることから、早急に建て替えを行い、子どもの学ぶ環境を整備すべきではないか。

**A** 築50年を超える小・中学

## 女性活躍の推進と誰一人取り残さない学びの保障を図れ!

武田 新世(公 明 党)



**Q** 女性の雇用創出に向けた企業の誘致活動を積極的に行うことで、若年女性が就職したいと思える働き甲斐のある

職場を確保し、多様性の創出を図るべきではないか。

**A** (仮称)山形北インター産業団地での企業誘致では、女性が活躍し、働きやすい職

報や事件が後を絶たないが、子どもの安全を守るため、市立保育園の防犯対策にどのように取り組んでいくのか。

**A** 警察や警備会社に直通でつながる通報装置を設置しているほか、門扉・玄関などの施錠を徹底するとともに、来訪者への対応はインターフォンで行っている。さらに、不審者対応などを想定した訓練を定期的実施するなど、職員だけではなく、園児に対しても日頃から防犯教育を行っている。

**Q** 車いす使用者の利便性の向上を図るため、県では車いす使用者用駐車施設へのカラー塗装を推進しているが、本市でも積極的に周知・啓発を行うべきではないか。

**A** 県は、病院やホテルなど

の生活関連施設の駐車場に車いす使用者用駐車施設の設置を求めているほか、望ましい基準として、塗装方法などの整備基準を定めている。障がいのある人が地域で安心して生活していくため、市有施設を含めた車いす使用者用駐車施設の設置者に対して、周知・啓発を行っていく。

**Q** 家賃低廉化補助金の低廉化対象世帯に、母親のみで養育するひとり親世帯を含めてはどうか。

**A** 低額所得者世帯を含む住宅確保要配慮者の円滑な入居を促進するため、令和4年度に居住支援協議会を設置している。本市の実情や他市の事例なども踏まえながら、協議会を構成する関係機関などと支援の在り方を協議していく。

**Q** 子どもの多様化学校を設置して効果をあげている自治体があるが、本市でも導入してはどうか。

**A** 先行事例の情報を収集す

るとともに、国の動向を注視し、県教育委員会と連携しながら、学校に通えない子どもの教育機会を確保するための取り組みを研究していく。

**Q** 近年改築された学校と築年数の長い学校では、教育環境に格差があるが、どのように公平性を図っていくのか。

**A** 築年数の長い小・中学校

と不登校児童生徒の実態に配慮して特別に編成された教育課程に基づく教育を行う学校のこと。これまでは不登校特例校と呼ばれていた。

\*1 学びの多様化学校…不登校児童生徒の実態に配慮して特別に編成された教育課程に基づく教育を行う学校のこと。これまでは不登校特例校と呼ばれていた。

\*2 ヤングケアラー…本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っている子ども。





▲馬見ヶ崎川河床の樹木（見崎橋）



遠藤 吉久

## 河床の樹木の伐採と 除排雪の徹底を求める！

よしひさ 吉久（未来やまがた）

Q 県は中学校と高校の体育館への小規模な冷房設備設置の補助制度導入を決定したが、

で老朽化の状況などの調査を行い、整備の手法なども含めた検討を進めるとともに、すべての子どもたちが質の高い教育を受けられるように、教育環境のさらなる充実に取り組んでいく。

市での対応はどうか。また、小学校体育館にも冷房設備を導入すべきではないか。  
A 中学校体育館へのスポットクーラーなどの設置は、部活動の合間などの一時的なクールダウンには有効であるため、導入を検討していく。また、小学校への設置も望ましいことから、設置に対する支援を県に要望しながら、導

入を検討していく。  
Q 医療費の増大や罹患者の休職に伴う経済的損失を避けるため、带状疱疹ワクチン接種への助成制度を創設してはどうか。  
A 当該ワクチンの定期接種化は、現在、専門委員会で審議されている最中のため、国の動きや他自治体の状況を注

視しながら検討していく。  
Q 大野目地区の公園空白地域解消は喫緊の課題であるため、警察職員アパート跡地へ公園を設置してはどうか。  
A 提案された場所を候補のひとつとして、令和5年度からワークシヨップを開催し、空白地域の解消に向けて検討していく。



▲さらなる“女性が輝くまち山形”を目指して

Q 千歳橋や見崎橋周辺の河床には、豪雨の際に水流の妨げとなる樹木が繁茂しているが、国や県と連携して対策を行うべきではないか。  
A 支障木の伐採は洪水を防ぐためにも重要であり、市に寄せられた要望は速やかに進捗するとともに、引き続き国や県へ要望していく。

Q 千歳橋の4車線化は重要要望事業として県に要望し、県が主体となり勉強会が開催されてきた。これまでの経過を踏まえて、県と連携して4車線化を早期に進めるべきではないか。  
A 4車線化の必要性は認識しているが、事業の困難性や現状の課題などから、令和4年9月の勉強会では、銅町交差点の混雑緩和に向けた社会実験を行うこととした。今後は、社会実験で得られた知見を拡幅整備の検討の際の基礎材料とするなど、4車線化の早期実現に向けた協議を継続していく。

Q 二口橋の東西口は変形の五叉路となっており、朝晩や冬期間の交通渋滞が顕著である。渋滞解消のため、隅切りなどの対策を行ってはどうか。  
A 橋梁の架け替えや歩行者用通路の新設予定はないが、交通量などの現況調査を行い、道路管理者や関係機関と効果

的な渋滞対策を協議していく。  
Q 社会全体が高齢化し、よりきめ細やかな除排雪体制を構築すべき時期に来ていると考えるが、袋小路などの除雪では、当事者と十分に話し合いを行うべきではないか。また、住民からの申請を待つのではなく、積極的に手を差し伸べていく体制が必要ではないか。  
A 除排雪対策は、市民目線でのきめ細やかな対応が必要と考えており、随時見直しを行っている。事業者が気象条件などを確認し、基準に達した場合に自動する自主判断区域の拡大を検討していく。また、除排雪対策を広報やまがたや市ホームページで周知するとともに、令和4年度に作成した「山形市道路除雪ガイド」での周知を5年度も継続するほか、4年度に試行設置したクレーターのためのワンストップ窓口を、5年度も継続して設置する。  
Q 酷暑への対策として、各分野を総合的に網羅する対策計画を策定して啓発を行うとともに、市としての体制を整えてはどうか。また、高齢者世帯がクーラーを設置する際に補助を行ってはどうか。  
A 気温の高い状態は、世界全体で今後もしばらく続くと言われていることから、市民生活をはじめとした各分野での対応を引き続き行うとともに、対策計画の策定は、必要性を含めて検討していく。高齢者世帯のクーラー設置への補助は、他市の事例を参考に調査研究していく。

## 旧百貨店建物を改修した地域交流の拠点施設 ～函館市地域交流まちづくりセンター～



総務（2班）

函館市地域交流まちづくりセンターは、百貨店として市民に親しまれてきた建物を市が購入し、市の分庁舎として使用した後に改修を行うことで整備された、情報発信・市民交流・市民活動支援などの機能を有する拠点施設です。

センターでは、市民交流やNPOなどの市民活動への支援のほか、観光案内をはじめとする地域情報の発信も行われており、東北以北最古の手動式エレベーターも現役で稼働しているなど、市民のみならず観光客など市外の人にも魅力的な施設となっていました。

## 消防団員の確保に向けて 全国に先駆けた取り組みを实践



総務（1班）

松山市では、郵便物の配達などで地域の実情に通じた郵便職員が、避難情報の提供や避難誘導の支援などの活動を担う「郵政消防団員」や、若手団員の確保のため、大学生や専門学校の学生が、避難所などでの活動と平時の広報・PR活動を担う「大学生消防団員」など、さまざまな機能別消防団員制度が導入されています。

また、応援事業所278カ所によって優遇を受けられる伊予鉄道のIC機能付きカードを全消防団員に配布するなど、消防団員を応援するための事業も実施されており、消防団員の確保に向けた積極的な取り組みが行われていました。

委員会名	日程	調査地	調査項目
総務委員会 (1班)	7月10日(月) ～12日(水)	愛媛県松山市	若者と取り組む選挙啓発推進事業について(選挙コンシェルジュについて) 消防団員確保への取り組みについて(機能別消防団について)
		愛媛県松山市	アクアパレットまつやまの概要について
		岡山県倉敷市	倉敷市のDX推進の取り組みについて 高梁川流域DX推進事業について(連携中枢都市事業) コミュニティタクシーについて
総務委員会 (2班)	7月24日(月) ～26日(水)	青森県八戸市	はちのへ文化のまちづくりプランについて
		北海道函館市	函館市地域交流まちづくりセンターについて
		北海道函館市	消防団の取り組みについて
厚生委員会 (1班)	8月7日(月) ～9日(水)	広島県福山市	福山ネウボラについて
		兵庫県神戸市	認知症神戸モデルおよび子ども・若者ケアラー支援事業について
		愛知県大府市	認知症施策および介護予防事業について
厚生委員会 (2班)	8月22日(火) ～24日(木)	兵庫県姫路市	こどもの未来健康支援センター「みらいえ」について
		広島県三原市	三原市児童館「ラフラフ」整備・運営事業について
		香川県高松市	高松市立みんなの病院の整備について

本市議会では、先進的な施策を実施する他の自治体などへの視察を行っています。視察の成果は、委員会審査の中で、本市の抱える課題の解決や市への提言に活かされます。令和5年度に実施した常任委員会視察の内容をお知らせします。

## 常任委員会視察報告

## 中高生と行政が一緒につくった児童館 ～三原市児童館 ラフラフ～



厚生（2班）

三原市では、中高生も気軽に利用できる児童館を目指して、新児童館をプロデュースする中高生を募集し、検討委員会を立ち上げました。委員会では児童館の改善点や提案を協議し、その結果がラフラフの運営面や施設に反映されています。

ラフラフには、中高生も利用できる学習室やスポーツ室、館内無料Wi-Fiが整備されているほか、中高生が放課後や休日にボランティアスタッフとして集まり、イベントを企画して子どもや保護者と交流するなど、世代を超えた交流の場として、地域社会全体で子育てを支援する拠点となっていました。

## 認知症不安ゼロのまちを目指して 条例を制定



厚生（1班）

大府市では、認知症に対する不安のないまちづくり推進条例を平成29年12月に制定し、全中学1年生が認知症サポーター養成講座を受講するなどの取り組みを推進した結果、人口約9万人のうち、2万人を超える市民が認知症サポーターとなっています。

また、専任の認知症地域支援推進員を配置して医療・介護の提供と連携を推進しているほか、認知症の方が事故を起こしてしまった場合の救済制度として立ち上げた個人賠償責任保険事業などの独自の施策を実施し、認知症になっても安心して暮らすことができる地域の支援体制づくりを行っていました。

幅広い世代が集う交流の場・情報発信拠点  
～オーテピア高知図書館～



産業文教（2班）

オーテピア高知図書館は、高知県と高知市が共同運営している図書館です。県立図書館と市立図書館を合築し一体的に整備するとともに、点字図書館と科学館も併せた複合施設になっています。

図書館は、県と市の共同運営のメリットを活かして、充実した蔵書を備えており、利用者からの相談や調べ物などのレファレンス業務に対応する司書を多く採用するなど、利用者のニーズに的確に対応する質の高いサービスを提供していました。さらに、中心市街地に整備したことで周辺の人通りも増え、中心市街地の活性化にも資する施設となっていました。

市民の食卓を支える水産物の安定供給拠点  
～室蘭市公設地方卸売市場～



産業文教（1班）

室蘭市では、公設地方卸売市場の老朽化に伴い新たな市場の整備を行い、令和4年8月に新市場がオープンしました。

新市場は、特に衛生面に配慮した設計となっており、洗浄室を通して消毒した後でなければ、せり場内に入ることができない構造となっています。

また、移転して使用しなくなった旧市場の土地を、民間企業に貸し付けて賃料を得ることで市場使用料を抑えるなど、仲卸業者などの市場利用者の負担軽減にも配慮した取り組みが行われていました。

委員会名	日程	調査地	調査項目
産業文教委員会 (1班)	8月7日(月) ～9日(水)	北海道函館市	中心市街地活性化事業の取り組みについて
		北海道室蘭市	公設地方卸売市場について
		北海道札幌市	I C T活用戦略の取り組みについて
産業文教委員会 (2班)	7月24日(月) ～26日(水)	高知県高知市	中心市街地活性化の取り組みについて
		高知県高知市	オーテピア高知図書館の整備・運営について
		香川県高松市	地域資源を活かした観光戦略について
環境建設委員会 (1班)	7月24日(月) ～26日(水)	広島県広島市	P a r k - P F I を活用した旧広島市民球場跡地整備等事業について
		兵庫県姫路市	大手前通りにおけるほこみち活用事業について
		兵庫県姫路市	S D G s 未来都市の取り組みについて
環境建設委員会 (2班)	8月1日(火) ～3日(木)	静岡県三島市	マンホール聖戦in三島の取り組みについて
		愛知県豊橋市	水道スマートメーターについて
		静岡県静岡市	脱炭素先行地域の取り組みについて

水道スマートメーターで  
水道使用量検針業務を効率化



環境建設（2班）

豊橋市の一部のエリアでは、水道メーターの自動検針を行うために水道スマートメーターを導入しています。水道スマートメーターは、検針員が現地に出向いて検針するのではなく、遠隔地から使用量データを取得することができ、一定の時間間隔で自動でデータが送信されるため、検針員の業務負荷の軽減や、漏水の早期発見などの効果が期待できます。

また、電気やガスの事業者とも連携し、電力会社の通信ネットワークを活用した自動検針を行うことで、検針業務の効率化やトータルコストの低減などにもつながる取り組みとなっていました。

「ほこみち」を活用した  
人中心のにぎわいある道路空間の構築



環境建設（1班）

姫路市では、姫路駅と姫路城を結ぶ大手前通りを、全国で初めて歩行者利便増進道路（通称：ほこみち）に指定し、道路空間の占用をより柔軟に認めることで、歩道上にテーブルや椅子などを設置し、にぎわいある道路空間の構築に取り組んでいます。また、道路を占有する事業者を公募で1事業者としたことで、通り全体のデザインコントロールも可能になっています。

昼間だけでなく夜間も人がくつろぐ姿が見られるなど、思い思いに過ごすことのできる場を提供することで、通りの魅力向上や地域の活性化につながる制度となりました。

# 議会報告会 & 議場演奏会を開催します

9月・12月定例会での審議内容や結果、各常任委員会のトピックスなどを、市議会議員が市民の皆さまへ分かりやすくお伝えする「議会報告会」と、市議会をより身近に感じていただくことを目的に山形交響楽団の演奏をお楽しみいただく「議場演奏会」を併せて開催します。

※「議会報告会」はオンライン（Zoom）でもご参加いただけますが、「議場演奏会」は会場参加のみとなります。また、議場演奏会のみ参加はできませんので、ご了承ください。

期 日：令和6年2月6日(火) **議会報告会** 午後1時30分～2時45分  
(午後1時より受付)  
**議場演奏会** 午後3時～4時

場 所：議場（市議会棟3階）

対 象：山形市内在住者90人程度（応募多数の場合は抽選となります）

申 込：ハガキまたはメールに、必要事項をご記入のうえ下記の申し込み先までご応募ください。令和6年1月12日(金)必着。締め切り後、抽選結果と当日の案内を送付します。

※お電話での申し込みは受け付けておりませんのでご注意ください。

## 【必要事項】

- ①氏名 ②郵便番号・住所 ③電話番号（日中連絡のとれるもの）  
④配慮が必要な事項（車いす利用など）  
(複数人参加の場合は申込者全員の氏名、郵便番号・住所、配慮事項を明記)  
※オンライン参加希望の場合はその旨記載してください。

## 【申し込み先】

ハガキ：〒990-8540 山形市旅籠町2丁目3-25  
山形市議会事務局議事課まで

メール：giji@city.yamagata-yamagata.lg.jp

## 【お問い合わせ】

☎023(642)8404(直通)



## 「議場平和コンサート & 議会棟見学会」を開催しました



ウクライナ紛争などで国際情勢が不安定化する中、G7サミットが令和5年5月に被爆地広島で開催され、非核平和への機運が高まっていることから、昭和59年3月に全国に先駆けて平和都市宣言を議決した山形市議会の議場にて、令和5年10月20日に被爆ピアノを活用したコンサートを開催しました。当日は54人の皆さまからご参加いただき、平和への思いを伝える貴重なピアノで、「瑠璃色の地球」や「ふるさと」など親しみのある曲の音色が奏でられ、平和や命の尊さを考える貴重な機会となりました。

ウクライナ紛争などで国際情勢が不安定化する中、G7サミットが令和5年5月に被爆地広島で開催され、非核平和への機運が高まっていることから、昭和59年3月に全国に先駆けて平和都市宣言を議決した山形市議会の議場にて、

## 12月定例会の日程 (予定)

11月30日(木)  
～12月18日(月)

日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

なお、12月定例会で審査される請願・陳情の締め切りは、11月27日(月)です。

☎023(642)8404

## 編集後記

市民の皆さま、議会報「みちしるべ」を手にとっていただきありがとうございます。

令和5年は、統一地方選挙や山形市長選があり、あつという間の一年でしたが、広報広聴委員会では、「みちしるべ」が市民と議会の架け橋となり、より多くの皆さまに読んでいただけるよう、議論や研修を重ねるとともに、議会報告会の在り方の検討にも取り組んできました。今後も分かりやすく、親しまれる広報を目指してまいります。

物価の高騰が気になる師走です。市民の皆さまは、令和6年にどのような希望を描いていらっしゃるでしょうか。幸多い年となるようご祈念いたします。

広報広聴委員 阿曾 隆

## スマホで視聴できます

スマートフォン・タブレットなどで本会議や予算委員会などの模様（生中継・録画）が視聴できます。お気軽にご活用ください。



## ウェブサイト

山形市議会 中継

で 検索